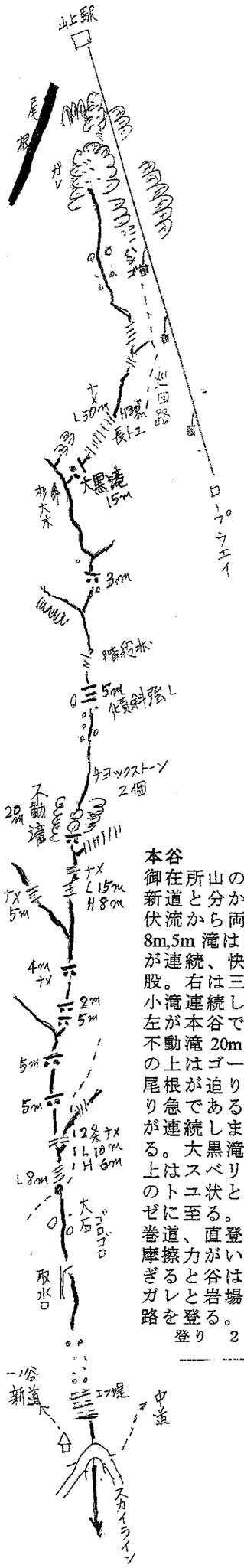
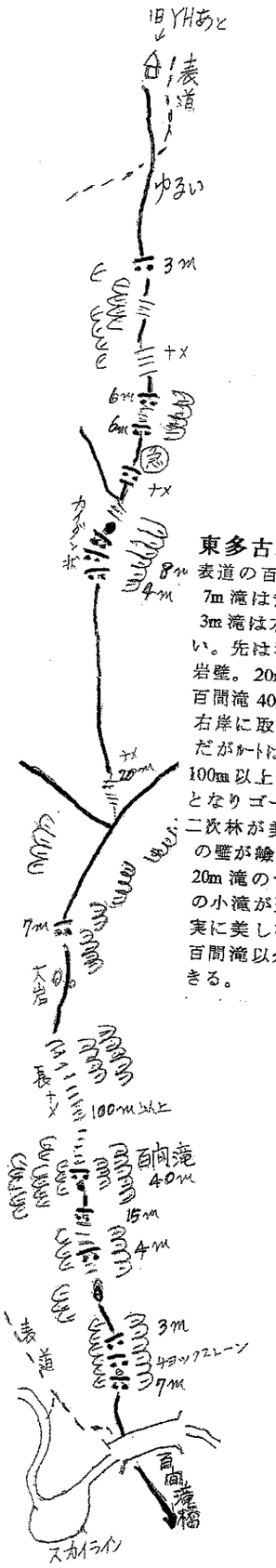
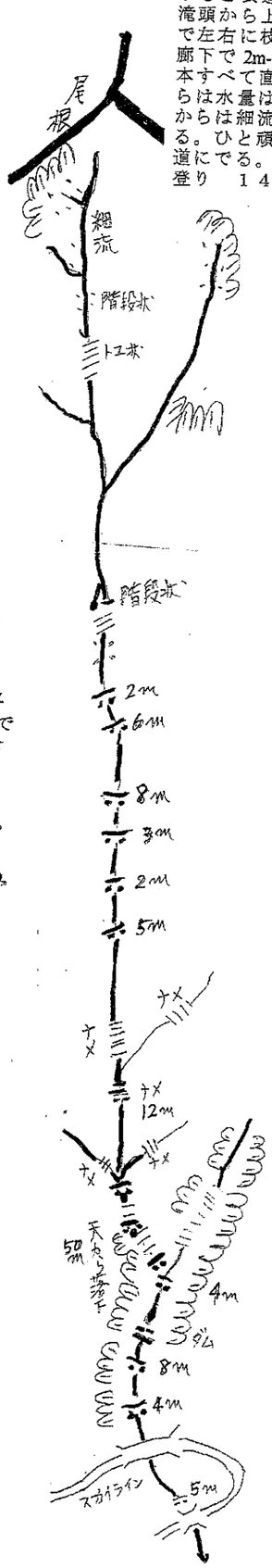
御在所岳の谷



本谷
御在所山の家から一ノ谷新道と分かれて入る。伏流から両岸迫り取水口、8m,5m滝は直登し、ナメ5mが連続、快適な登りで二股。右は三ノ沢の支谷で小滝連続し中尾根に至る。左が本谷で廊下の先に不動滝20m左を巻く。その上はゴーロ帯でさらに尾根が迫り二股は右曲が急である。ゴーロ小滝なりが連続しますます急になる。大黒滝は左を巻く、上はスベリ滝というナメのトユ状となり上のルンゼに至る。右のブッシュが巻道、直登はワラジの摩擦力がいる。これを過ぎると谷は広がる。上はガレと岩場、あとは巡回路を登る。
登り　２００分



東多古地谷
表道の百間滝橋付近で入谷、7m滝はチョクストーンある。上の3m滝は右岸巻くが岩がもろい。先は淵と廊下とボロボロの岩壁。20m滝は左岸を巻く。百間滝40mは上が見えない。右岸に取り付き直登、相当急だがルートはある。上は大ナメで100m以上あ。さらに先は廊下となりゴーロ帯となる。二次林が美しい。やがて左岸の壁が峻しくなり、二股から20m滝のナメ。さらに階段状の小滝が連続、5m、8m,6m,6m。実に美しい滝。慣れた人なら百間滝以外は大部分が直登できる。
登り１４０分



西多古地谷
取り付きからすぐ立派な4m,8m滝とダムあり、大滝50mは水量が少なく、堂々と天から落下。巻きいこれを右ルンゼからゼにに巻く、巻きとナメ状ルンゼ、大高すると上にでる。ナメ連続に滝頭左右に枝谷、つぎが数で廊下すべて直登。6m滝か本ははら水量は減る。二と登らかる。ひとと頑張りで道にでる。
登り　１４０分

本谷

東多古地谷

西多古地谷